

新しい組織構造

(提出者：Hejo Feuerstein, Marine de Fréminville, Sergio Lara Cisternas)

新しい TFI の構造とワールドワイドなフォーカシングの組織に関するワークグループは将来のフォーカシング組織をめぐって、いくつかの本質的な特徴を反映していた。

- 新しい TFI 会則にもコーディネーター、トレーナーや他のメンバーが「会員」として見当たらない。これまでと同様に、現在もコーディネーターやトレーナーが TFI の意志決定や投票に関する正式な権利を有していない。これはアメリカ合衆国の NPO に関する法律上の規制と関連している可能性がある。法律的には TFI は理事たちが所有しており、理事たちが個人として TFI に対して責任があることになっている。(このオーナーモデルの歴史的なルーツは Gene Gendlin と Mary Hendricks Gendlin にあり、設立者をオーナーとみなすことは妥当であった。)
- しばらくの間、成長を続けているワールドワイドなフォーカシング・コミュニティがあり、それに伴って、異なった文化の個人たち、地域的なフォーカシングの拠点、国レベルや大陸レベルのフォーカシングのネットワークがある。将来のフォーカシングの組織は、より大きなフォーカシングの会として、すべてを含み込む可能性がある、それが地域的、国レベルの、そして大陸レベルでの相互サポートとなり、フォーカシングを広め、コミュニケーションを促進し、コンセプトや応用を開発したり共有したりすることができる。そのためには、ある種の自己組織化 (self-organization) が適切であり、そこでは組織はメンバーによる選挙によってマネージされよう。たとえば、パーソン・センタード・アプローチの世界学会 WAPCEPC (World Association for Person-Centered & Experiential Psychotherapy & Counseling) はワールドワイド、大陸レベルと国レベル (個人会員と団体会員) のメンバーからなっている。私たちはこのような組織のコンセプトがフォーカシングと TFI に役立つか、どれが役立たないかを検討することができる。
- 現在の課題：TFI が現在よく達成されているタスク (ウェブサイト・Folio) が機能し続けるようにすると同時に「{会則にも明記されている}」本物のメンバー「{会員}」として世界中のフォーカシング・コミュニティを含むことができる新しい組織構造のためにスペースをあけることである。これにはいくつかのオプションがあるだろう。
 - すべてのメンバーを含むように TFI の会則を変更すること。これは法的な理由で難しいかもしれない。
 - TFI との定義された関係がある新しいフォーカシングの自己組織を設立する：TFI がそのような自己組織をマネージするように義務づけたり、自己組織が理事会に投票で選ばれた理事を送り込むなどである。
 - ニーズに合致する他のモデルもあるだろう。